

(公社) 青森県診療放射線技師会理事会等議事録

委員会等名 :	令和7年度第3回理事会
開催通知 :	令和7年9月15日(月)
開催日時 :	令和7年9月25日(木) 19:00 ~ 20:45
場所 :	Zoomミーティング
議長 :	佐藤兼也 議長が指名した議事録作成人:澤橋政美
(出席者)	理事:13人(定数15) 監事:1名(定数2)
理事	佐藤兼也、小澤友昭、成田将崇、森脇公洋、石倉牧人、横山幸夫、大湯和彦 岩瀧昌善、三浦隆司、澤橋政美、米田竜二、高橋康幸、伊丸岡俊治
監事	福士正広
(欠席者)	
理事	竹山修嗣、内田幸範
監事	稻葉孝典
会議を始めるにあたり参加者全員の通信確認を行った。	
(議事要旨)	
【議案1】入会の申請 (森脇常務理事)	
入会申請者3名について資料が提示され、承認された。	
【議案2】最低賃金の改正に伴う事務員の時給改正 (森脇常務理事)	
2025年11月に青森県の最低賃金が改正されることから、事務員の時給改正が必要であることが説明された。また、1ヶ月あたりの増額分が2880円である試算も提示された。現行の990円から1070円へ、11月1日勤務分から改定することが提案され承認された。	
【議案3】JART表彰 (永年勤続表彰、地域役員功労表彰 (森脇常務理事)	
30年永年勤続表彰該当者7名に対し、本人の受賞意思を確認後、候補者として推薦すること、及び地域役員功労表彰は成田副会長が該当し、推薦することが承認された。	
【検討1】第15回TCRT (佐藤会長、小澤副会長)	
現在までの進捗状況と今後の流れについて資料が提示された。	
9月23日時点で大会193名、情報交換会110名である。	
機器展示にPSP社が追加され19社となった。	
一般演題スライドの受付は10月1日開始予定であるが締切日については確認する。	
クイズラリー(県企画)の最終問題を式典で行うか、採点方法や景品については再検討する。	
座長やシンポジスト(技師以外)などへ県技師会(積み立て50万円)から謝金等を支払うことを監事と相談しながら検討する。	
【検討2】全国X線撮影技術読影研究会 第31回青森大会 (佐藤会長)	
2026年5月に開催としている。	
弘前大学医学部保健学科放射線技術科学専攻の先生方が開催を担当することになった。	
2025年10月4日の徳島大会でプロモーションしてくる。	
【検討3】令和7年度検診従事者指導講習会 (佐藤会長、森脇常務理事)	
開催日は2025年11月29日(土)で計画している。	
青森新都市病院の秋庭会員に講師等の推薦依頼等をしている。	
昨年同様ハイブリッド開催にするかは再検討する。	
概略を定めてから、県担当者に開催の申し入れを行う予定である。	
【検討4】ワクチン筋注実技研修 (佐藤会長、石倉常務理事)	
JCRT福井大会での研修には佐藤会長、成田副会長、石倉常務理事、内田理事、竹山理事が受講し、青森県開催の参考とする。	

実際の研修はe-learning（1時間程度）が済んでいれば、事前申し込みなく受講可能となる。

2026年2月にJARTから青森市民病院にファンタムが届く。

2025年12月にJARTから開催費補助として10万円が支給される。

【検討4】青森県原子力防災訓練第1回調整会議（佐藤会長、森脇常務理事）

2025年8月1日に青森県庁で開催された。

訓練は11月13日（木）に野辺地町運動公園で実施予定である。

米田理事に打診し、参加することになった。

当会へは4～5名の協力要請があり、後ほど名簿の提出が必要である。

次回調整会議は10月17日（金）にウェディングプラザ アラスカで開催予定である。

【報告1】会長・副会長・常務理事業務執行報告（森脇常務理事）

2025年7月2日から2025年9月24日までの事業執行報告が提示され、石倉常務理事のJCRT2025（9月12日から14日）への参加が追加された。

【報告2】弘前市第38回市民の健康まつり（成田副会長）

2025年7月13日に弘前市ヒロ口で開催された。

例年より会員の参加が少なかったが、測定器を3台準備することができたので、骨密度測定者396人（昨年比58人増）をあまり待たせることなく測定作業が出来た。

弘前市の機器を無償で借りることが出来たので、費用を抑えることが出来た。

ただし、弘前市の骨密度装置を次週のイベントに使用するため開封した際、電源コードが見当たらないと弘前市から連絡があった。当会担当者数人に確認したところ、電源コードを収納したことであった。次回以降、備品管理を着実に実施する必要がある。

【報告3】第11回青森医用画像研究会（大湯常務理事）

2025年8月23日にダイワロイネットホテル青森でハイブリット開催された。

参加者は現地17名、Web29名、合計46名であった。

本研究会の周知に関して当会からの告知がなかった点は今後の広報連携のあり方について検討の余地がある。

今回は当会からの謝礼支給等の支出はなかった。

【報告4】賛助会発表後アンケート集計結果（石倉常務理事）

概ね参加した賛助会員から好評というアンケート結果が提示された。ただし、日曜日の出勤を会社が難色を示すので、可能でしたら土曜日開催を希望するという意見もあった。

来年度も実施することはアナウンス済であり、今後も事業継続として進めていく。

【報告5】令和8年度医療介護総合確保法に基づく青森県計画（森脇常務理事）

当会で立案できる事業を計画は困難と判断し、提案は見送った。

【報告6】第54回医療功労賞（森脇常務理事）

青森県より毎年度読売新聞社が主催している医療功労賞について候補者推薦の案内があった。

会長から疑義のあった「過疎地」の定義等を確認するなど準備を進めていたが、候補者を絞ることができず、今年度は推薦を見送った。

来年度に向けて準備する必要がある。

【報告7】後援依頼（佐藤会長）

第3回東北乳腺まるごと勉強会（2025年10月25日開催）及び第16回県病医療連携フォーラム（2025年10月11日開催）について後援依頼について了承した。

【報告8】2025年度地域委員会（全国地域連絡協議会）（佐藤会長）

2025年7月19日にWeb開催された。

地域委員会資料が提示され、動議無く終了した報告があった。

学術大会の開催期間短縮（2日間開催）について、概ね賛成意見が多かった。
大会運営の効率化・経費削減について、多方向にわたるアイデアが寄せられた。

【報告9】ホームページの改修（リクエストセミナーの対応）（佐藤会長）

会員の意見（リクエストセミナー）が応募できるよう改修した。

常務理事会では県会費の費用対効果を念頭に当会が主催するイベントの非会員の参加費を400円はどうかと提案があった。

会員からの要望状況を報告する仕組みを構築していく。

【報告10】総務関係（森脇常務理事）

・会員の動向

新入会7名（県のみ1名）、退会1名で県会員371名となった。

現職会員の逝去に伴い慶弔規程に従い弔電等送った。

また、免許返納、退会のお知らせについても手紙を送った。

・公益法人インフォメーションへの届け出（変更届・定款改正）

2025年8月5日に届け出（変更届・定款改正）を済ませた。

・中間監査

2025年7月11月15日（土）に青森市民病院にて開催予定である。

【その他1】青森県診療放射線技師会とのWeb懇談会について（佐藤会長）

参加者は会長と県内JART会員（20代後半から30代）2名を選任する。

日程は2025年11月10日（月）、2026年1月14日（水）、2026年1月16日（金）のいずれかの18:30～19:30である。

【その他2】公益法人等の監督に関する実施要領に基づく「点検調査」の実施に係る日程調整について（森脇常務理事）

参加者は、会長、副会長、森脇常務理事、横山常務理事、監事を予定しており、11月から12月で日程調整する。

以上

本書は議事録に相違ない。

令和7年9月30日
青森市安方二丁目17番15-802号
ライオンズマンション新町通
公益社団法人 青森県診療放射線技師会

会長 佐藤 兼也

監事 福士正広